

第42回甲賀市水道事業審議会 概要報告

1. 開催日時 令和3年2月8日(月) 午後2時00分から午後4時00分まで
2. 開催場所 甲賀市役所3階 会議室301
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 議題 水道事業の概要及び財政計画について
令和3年度甲賀市水道事業会計予算(案)について
5. 出席者
委員 松井委員、永野委員、西谷委員、浅沼委員、中尾委員、大治委員、
奥出委員、池本委員、梅本委員、米山委員 以上10名

岩永市長 (途中 退席)

事務局 上下水道部 立岡部長、中島次長
上水道課 井口課長、若林課長補佐、神山課長補佐
上下水道総務課 大谷課長、伴課長補佐、中辻課長補佐、
大谷係長、望月係長
6. 傍聴者数 1人
7. 会議資料 資料1 令和3年度甲賀市水道事業会計予算(案)について
8. 議事の概要

○出席委員数の報告

出席委員は、10人中10人で、委員の3分の2以上の出席であることから、甲賀市水道事業審議会条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告

○委嘱状の交付

○会長、副会長選出

甲賀市水道事業審議会条例第4条第1項の規定に従い、審議委員の互選により、審議会の会長、副会長を選出

○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の会議資料には個人情報等の非公開にしなければならないようなものは含まれていませんので、すべて公開とします。なお、議事録につきましては、個人名ではなく、委員として記載して公開します。
(全員異議なし)

○報告

事務局 (1) 水道事業の概要及び財政計画について
資料に基づき説明

(質疑)

委員 有収率はとても大事なことだと思う。
水道メーターの検針時に、水道が漏れていると伝えられた。
メーター交換を定期的に行っていると思うが、このような漏水も有収率に繋がるのではないかと。

事務局 メーターBOX付近の少量漏水であっても、その積み重ねが有収率の低下に繋がることから、検針時に漏水を発見した場合は、そのタイミングでお知らせし、また、メーター交換においても作業ミスのないよう業者への指導を徹底します。

事務局 (2) 令和3年度水道事業会計予算(案)について
資料に基づき説明

(質疑)

委員 9ページ 令和3年度の水道事業工事一覧を載せているが、他に工事しなければならないところはあるのか。

第2次水道ビジョンを基に計画されていると思うが、地元からの要望などの中で決められたのか。もっとしなければならないところがあるのかどうか教えて欲しい。

事務局 毎年11億円の予算を平準化し、実施するものです。まずアセットマネジメントで40年間の計画を策定しており、その中で耐用年数を経過したものから順番に更新していくものです。突発的に漏水があったところは前倒しするものもありますが、更新計画に基づき実施しております。

委員 第2次水道ビジョン実施計画で、進捗状況がどれだけ進んでいるもしくは遅れているのか教えてほしい。

事務局 土山第一水源地につきましては、前倒しで今年度を実施させていただきました。
前倒しできるものがあれば、実施計画の見直しも含めて行っております。

会長 水道ビジョンの72ページに「計画の進捗管理」というものがあります。Checkというものがどういうところでなされていますか、あるいは審議会の中でどのように扱われますかというような質問かと思いま

す。C h e c kについて進捗管理に対するお答えをお願いします。

事務局 次回の審議会の段階でまた示させていただき、今後、進捗管理については計画見直し時期にご説明させていただきたい。

委員 前年度の決算見込みについて、まず1ページ目に総括の内容が載っている中で、収益的収支については約4億円の黒字を見込んでいるとあるが、2ページの上の収支の表を見ると収益が32億4100万円で、費用が26億8000万円で差し引き5億6100万円となる。総括の方での4億円というのはどこをみればよいのか。

事務局 総括の「約4億円の黒字」につきましては税抜き額です。資料の投資・財政計画の当年度純利益の欄でお示ししています。
予算現額との比較では税込み額、投資・財政計画では税抜き表示となっておりますのでご理解いただければと思います。

委員 9ページ工事一覧の中の2番のブロック給水監視システム設置工事に関して、前に水口町内は漏水が多いという説明があったと思うが、監視システムは、どのように関係していくのか。

事務局 このブロック給水システムは、末端の集落の手前に流量計を設置し、夜間流量を把握することで早期に漏水を発見でき、それが有収率の向上につながります。昨年実施しました漏水調査後の修繕で有収率が若干上がるという成果が出てきましたが、この漏水調査とブロック給水システムというのはまた別の目的であります。
水口地域について、水道施設が少なく漏水の把握、特定が難しいので、集落単位で測定装置を設けていけば、比較的早い漏水の特定になるということで今年度から採用させていただいたものです。

会長 効率を考えると、コストパフォーマンスのいいところからあげていったということですね。

委員 水口の城山やスガ森のところからはすぐに漏水を発見ができるということか。全部で何か所設置するのか。

事務局 漏水を発見するために、夜間流量が増えてきたなど継続的に監視するために整備していきたいということです。設置する場所は袋小路になっている集落の入り口となります。水口町の管路は網の目になっており、今後配水計画を見直していく必要がありますが、ひとまず3か所の候補地が選定されている状況です。

会長 初めの方もおられるので、ブロック給水監視システムはメーターをつけて徐々に徐々に使用する場所に近づけていけば、どこで漏れているかがわかりやすいというシステムです。

委員 2年度の決算見込みで、支出の内訳の中で、水道設備工事費、予算現額13億2500万円、それから決算見込額で11億1200万円にな

るようだが、予算現額13億2500万円の中には元年度の繰越を含んでいると思うが、繰越額はいくらか。

事務局 予算繰越額は、5140万円です。

委員 決算見込みで11億1200万円というのは、2億円以上の減額になるわけだが、令和2年度の繰越見込みはいくらか。

事務局 今年度の繰越につきましては、長野地区関連の工事がございますして8400万円ほどの繰越となります。

委員 2億円以上の減額のなかで、繰越が8000万円程となるとそれ以外は不用額ということか、不執行か。

事務局 差額については、入札差額等となります。

委員 毎年11億円位、設備更新等にあてる予算を見込んでいる。あと10年程は何とか財政的にいけそうだが、今のうちに不用額としておくのではなくて、使えるだけの予算が確保できている以上は極力執行して、早く前倒しで更新作業を進めてほしいと思うが、その辺の計画的なことはどうか。

事務局 どうしても1割以上の入札差額が出てしまい、それをどう次にクリアしていくかということになってきます。もっと計画的に次年度を見越したなかで取り組んでまいりたいと思います。

会長 予算が余っているからといって計画以上にいろいろと工事を入れてしまうと、それはそれでまた大変なことになりますし、市町によってはよく余らしてくれたとお褒めの言葉をいただくこともあり、入札が安く済んだということは、それだけ節約ができたということにもなるわけです。もちろん見込みが高過ぎたのではないかというようなご批判もあるかと思いますが、それも含めて先ほどのPDCAでどのようにマネジメントをしているかということが、全体的に問われてくると思います。予算が余ったとしても予定通りの工事は執行しているということであれば、それは問題ないですし、2億円分有効活用できるのであれば、それをどういうふうに考えていましたかとなり、ただ、入札する前に安くなるという前提で工事をさらに発注するというのは難しいと思います。

その辺は現場としてもやりづらいところはあるだろうと思いつつも、むしろうまくやったかどうかというよりは、きちんと説明していただければ問題ないと思います。

委員 コロナの影響で、水道料金の支払いが困難になった方に支払い猶予とか分割の相談を受けているようだが、実際何件ぐらいの相談があったのか。

事務局 現在、支払猶予の相談件数が58件、申請件数が17件です。

- 会長 水道事業に対してコロナの影響がどう出ているかということも含めて、何らかの形で整理する必要がありますね。
- 委員 収支計画の資本的収入、6番の国補助金が令和3年度には記載されているが、補助金の内訳は何か。
- 事務局 令和3年度予算の1,285万8千円ですが、山村辺地等活性化事業で、特定の地域に限り受けられる補助金です。